

平成 20 年度 肉用牛の入門講座の概要



平成 21 年 3 月

(社)山口県畜産振興協会

山口県畜産振興課

目 次

1	平成 20 年度肉用牛の入門講座開催要領	P1
2	平成 20 年度肉用牛の入門講座の実施状況	
(1)	肉用牛の基礎講座	P2
(2)	現地研修	
	ア 周南市 M牧場	P3
	イ 美祢市 T牧場	P4
	ウ 下関市 T牧場	P5
	エ 萩市 N生産組合	P6
(3)	子牛市場視察・意見交換会	P7 ~ 8

<肉用牛の入門講座について>

この講座は、(社)山口県畜産振興協会が山口県から委託を受けている「畜産の担い手確保対策推進事業」の一環として、県関係機関との連携により開催している。

今年度も 13 名の参加申し込みがあり、基礎研修、4ヶ所での牧場実習、子牛市場研修を行った。参加者の中には、レンタル放牧を経験後、牛を導入した方や数年後に退職して山口県に帰って農業を志す方など、思いは様々であったと感じるが、全体を通じて、経営開始時には低コストで牛を飼うことを徹底し、放牧の活用も推進した。

中山間地の過疎化が進む中、牛を基本とした農業を開始する方が一人でも増えるよう関係者や受入農家とともに支援していくことを継続することが重要であると感じている。

平成 21 年 3 月

社団法人 山口県畜産振興協会

1. 「肉用牛の入門講座」開催要領

1 開催目的

高齢化や後継者不足等により県内の肉用牛農家が減少する中で、肉用牛の生産基盤を維持・拡大していくためには一層の規模拡大を推進するとともに、新たな肉用牛農家の育成が大きな課題となっている。

このため、定年退職者や他産業従事者等を対象とした肉用牛経営を始めるに当たっての初歩的な研修会を開催し、肉用牛飼養に必要な基礎知識や実際の肉用牛経営の内容を知る機会を提供し、新たな肉用牛農家の育成・確保に資する。

2 主催者

山口県及び(社)山口県畜産振興協会

3 受講対象者

原則として、県内において新たに肉用牛経営を始めようとする者

4 講師

(社)山口県畜産振興協会職員、県職員及び研修受入農家等

5 開催方法

原則として、年間4回程度の研修会を開催し、肉用牛経営を開始する際に必要となる基礎知識等を修得するとともに、畜産農家における肉用牛飼養の体験学習や子牛市場視察等を行う。

(1)開催時期 原則として、1回目:7月、2・3回目:8~11月、4回目:12月

(2)開催場所 農林総合技術センター及び畜産農家等

6 研修内容

(1) 講義

肉用牛を飼養する際の基礎知識や県内における肉用牛経営の実態、経営開始に当たっての支援措置等について研修する。

(2) 現地研修

肉用牛農家の視察や実際に肉用牛の飼養管理作業を体験学習する。

(3) 意見交換

将来の肉用牛経営設計や今後の対応等について意見交換を行う。

(4) その他

受講者の要望等を踏まえ、必要と認められる場合には新たな研修項目を組み入れることができるものとする。

7 修了証の交付

所定の研修を修了した受講生には、修了証を交付するものとする。

8 受講者の募集

毎年度、広く受講生を募集するため、ホームページ・リーフレット等による広報や市町村・JA等と連携した募集活動を行う。

2. 平成 20 年度肉用牛の入門講座の実施状況

(1) 肉用牛の基礎講座

- 場所：山口県農林総合技術センター農業研修部（農業大学校）
- 日時：平成 20 年 7 月 5 日（土）
- 参加者：12 名。関係者 15 名。
- 内容：

1. 基礎講座

「肉用牛経営について」畜産振興協会事業指導部

清水誠 次長

「肉用牛の基本的な飼養管理について」農業大学校

宮本和之 主任

2. 繁殖牛、子牛、肥育牛の飼養管理実習
3. 牧場実習受入農家紹介
4. 意見交換



基礎講座の様子



肉用牛飼養管理の説明



放牧の説明



除角の様子

(2) 現地牧場実習

<周南市 T 牧場>

- 日時：平成20年8月30日(土)
- 参加者：8名。関係者2名。T 牧場2名。
- 内容：
 1. 牛舎構造、作業手順説明
 2. 2km離れた耕作放棄地での電気牧柵設置実習。
 3. 意見交換



手作り牛舎説明



電気牧柵設置



牛舎内の説明



ソーラー設置

4. 参加者の感想
 - 竹のスタンションが印象的。放牧の現場が参考。
 - 電気牧柵設置は簡単にできた。
 - 近くに放牧可能なところがたくさんあるが、一人では大変？
 - 飼料のエコ化、資源循環の徹底に感心。新規参入者と思っていた。
 - 肉用牛経営の厳しさを感じたが、夢や情熱も感じられ大変勉強になった。
 - 早期退職後経験の無い和牛飼育を始めたきっかけを詳しく聞きたかった。

<美祢市 T 牧場>

- 日時：平成20年9月13日(土)
- 参加者：9名。関係者3名。T 牧場2名。
- 内容：
 1. 牛舎ボロ出し作業、乾草収穫作業
 2. 移動放牧地視察
 3. 補助事業活用低コスト牛舎と現状の経営内容の説明。意見交換



ボロ出し実習



乾草収穫実習



移動放牧説明



情報交換

4. 参加者の感想

- 生産牛の飼育方法がとても参考になった。発情をよくするための日光浴、受胎率向上には人工授精を自分でやる必要を実感。
- 全面で低コストの工夫。Tさんの人柄や牛の管理方法は参考になった。牛が元気そうで優しい顔をしていた。
- 子牛の牛舎は前日の雨のためか汚れていた。機械化は楽であることを実感したが、自分は人力でがんばる。
- 草刈機初体験。牛を飼うには地域の理解と協力が必要であることを実感。
- 地域密着型放牧や草地借入による低コスト経営実践は参考。パイプハウス牛舎は低コスト規模拡大の見本。
- 放牧地が集約されておらず、冬の粗飼料確保を考えると労働が不規則？その中で高い受胎率の維持は驚き。

< 下関市 T 牧場（法人経営） >

- 日時：平成20年10月4日（土）
- 参加者：8名。関係者2名。T牧場2名。
- 内容：
 1. ミレットの反転とロール実習、ラッピング作業実習
 2. 法人経営内容の説明。意見交換



反転作業



ロールベラー実習



ラッピング作業実習



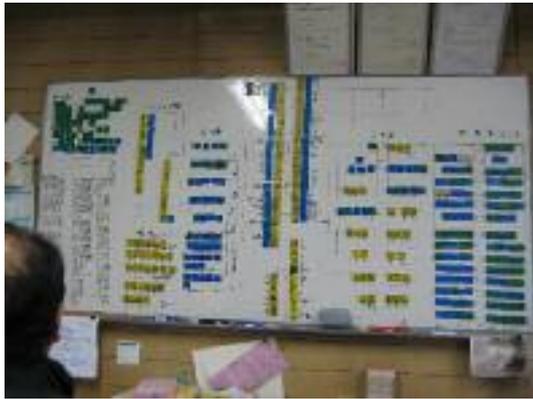
鉄骨牛舎説明

4. 参加者の感想

- ロールベラーやラップマシン操作は参考になった
- 2人一組の作業は良い汗をかいた。牛を飼うためには施設費、飼料費など苦勞が耐えないことを実感。
- 2人で28頭管理は大変であることを実感。他部門全体からみた和牛の収支が気になった。
- 作業を楽にするには機械導入が必要。しかし維持には費用がかかる。経営をもっと勉強したい。

< 萩市 N牧場（農事組合法人） >

- 日時：平成20年11月29日（土）
- 参加者：4名。関係者3名。N牧場3名。
- 内容：
 1. 組合設立から今日に至る経緯説明。
 2. 繁殖舎、放牧舎、育成舎、分娩舎、肥育舎、たい肥舎作業説明。意見交換



事務所内の牛管理ボード



放牧牛舎の連動スタンション



肥育牛舎 自動給餌機



たい肥舎説明

4. 参加者の感想

- 管理ボードに全ての牛の情報があり、一目で把握できる。良質たい肥作りの努力や畜舎内清掃や消毒も参考となり、今後真似したい。
- 黒毛和種の一貫経営が理想であるが、設備投資等多額の資金が必要であり、将来の目標（夢）として考えたい。いかに生産コストを下げ、良質な牛を生産するかが経営のカギとなる。

(3) 子牛市場視察・意見交換会

- 日時：平成20年12月10日(水)
- 参加者：今年度受講者8名。昨年度受講者2名。受入農家2名。関係者15名。
- 内容：
 1. 山口中央家畜市場 子牛市場での流通視察
 2. 肉用牛飼養に係る支援制度説明(県畜産振興課 米屋主任)
 3. 牧場実習の概要報告、農林公社・就農支援塾・農業総合技術センター畜産技術部からの情報提供。
 4. 意見交換

<主な意見>

外部からの参入、法人について

- ・ 農事組合法人は事業税等優遇されているものもある。
- ・ 株式会社からの新規参入の場合、農地法が絡むと難しい。
- ・ 既存の営農集団に参画し、牛導入のチャンスを狙うことも一案。

その他

- ・ すでにレンタル牛で放牧を体験し、和牛を購入した。9月に牛舎を建て6頭まで増やす予定。
- ・ 放牧経験牛を導入し、現在4頭。ようやく子牛を出荷し、49万円で販売できた。子牛の育成は難しいことを実感。
- ・ 3ヶ所実習。定年後は山口県で農業を始める。健康管理も含めて期待。低コストで牛を飼うことを学んだ。10年以上は飼いたい。
- ・ 父親の経営を移譲。米も行っているが、サラリーマンほどは所得がない。放牧はメリットがあると感じており実践したい。
- ・ 雌牛2頭飼養。息子が農業に理解を示しており、一緒にやることを期待。
- ・ 耕作放棄地対策で牛を知った。畜産をよく理解できた。
- ・ 肥育経営を継承することになった。飼料代などがかなり高く、コストのかかることを実感。
- ・ 異業種からの畜産導入を模索中。放牧は魅力。
- ・ 多様性のある肉用牛を理解してもらえたら幸い。畜産関係者の人を知り、お互いを知るきっかけになったと思う。
- ・ 山口県では、和牛増頭を推進。関係機関を大いに活用して、1頭からでも牛を飼養して欲しい。

<修了証授与>

基礎講座、牧場実習、子牛市場研修受講者に修了証授与。

12月10日の様子



子牛市場視察



意見交換会



修了証の授与



修了証の授与